

兵庫県立丹波年輪の里のサウンディング調査実施結果

1 参加事業者数 2者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

指定管理業務の内容について
①年輪の里単体ではなく、近隣にある指定管理施設と同時に公募化となれば、一体管理を行い人件費削減や、事業の提案も行うことができるため、参入の検討をしやすい。
②施設の一括管理ではなく、施設の管理・イベント運営等は公募、地元との調整や他施設との連携は現指定管理者が行うなど、業務を切り離しての応募であれば参入の検討をしやすい。
③施設自体に興味はあるが、現指定管理者と地元との繋がりが強い場合、参入は難しい。
修繕について
①指定管理者が実施する小規模修繕と県が実施する修繕について、金額による明確な基準がある方が分かりやすい。
②木造建築であるため、老朽化の深刻度が不安材料となる。
③今後大規模修繕がないと、維持管理をしていくうえで修繕費が高つく可能性がある。
応募・指定管理期間等について
①公募期間については十分だが、質問の回答実施後、募集締め切りまでは1ヶ月以上期間を設けてほしい。
②非公募から公募に切り替えをする場合は、施設の状況等を把握出来ていない状況であるため、指定管理期間は5年が妥当。
応募条件等について
①林産指導員など、特別な技術を持つ職員の配置は人材確保が難しい。
②科目ごとの細かい収支実績、施設の所持している機器の情報や点検の詳細等、施設を運営する上で必要な情報を公開してほしい。
③公募化した場合、現在のスタッフの処遇に関しては、会社での処遇制度をもとに給与や雇用形態を決定していく。

担当者：産業労働部労政福祉課 吉良
TEL：078-362-3362
メール：Mariko_Kira@pref.hyogo.lg.jp